



あらかわ

# 社協だより

No.264

令和6年12月1日



ひらりちゃん  
荒川社協キャラクター

区内の地域福祉情報は こちらから ▶ 荒川社協ホームページ <https://www.arakawa-shakyo.or.jp/> E-mail [info@arakawa-shakyo.or.jp](mailto:info@arakawa-shakyo.or.jp)  
発行: 社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 〒116-0003 東京都荒川区南千住1-13-20 TEL: 03-3802-2794 (代) FAX: 03-3802-3831

ホームページ フェイスブック

# 歳末たすけあい運動

## ご協力をお願いします

### 募金期間

## 令和6年12月中

- 実施団体: 町会・自治会  
民生委員・児童委員協議会  
母の会、共同募金協力会
- 協賛団体: 荒川区
- 実施者: 荒川区社会福祉協議会
- 主唱者: 東京都社会福祉協議会
- 主催者: 東京都共同募金会



今年も12月1日から、「歳末たすけあい運動(歳末たすけあい・地域福祉募金)」が始まります。荒川区内で集まった募金は、全額が荒川区の福祉事業に使われます。生活困窮や孤独感解消に向けた取り組み、3面に掲載の「地域福祉活動助成」、ふれあい粋・活サロンのほか、地域のニーズや特性に応じた地域福祉事業等に活用させていただきます。

昨年は、多くの地域の皆さまのご協力により、11,012,846円のあたたかい募金が集まり、本年度の地域福祉事業に活用されています。

今年も下記の日程で街頭募金を実施します。※当日、日程や場所に変更が生じる可能性があります。

### 街頭募金の実施

日にち	曜日	時間	場所(予定)
12月2日	月	17:00~18:00	「京成町屋駅」、サンポップマチャヤ周辺
12月3日	火	16:00~17:00	ジョイフル三の輪商店街、 荒川区社会福祉協議会前
		17:00~18:00	「南千住駅」(西口・ロータリー前)周辺
12月4日	水	17:00~18:00	熊野前交差点
12月5日	木	17:00~18:00	「日暮里駅」(バスターミナル・谷中側口)周辺



詳しくは  
こちらから



# 12月3日～12月9日は障害者週間 荒川社協の「障がい者用福祉避難所」の取組を紹介

福祉避難所は、大地震等の災害時に自宅の倒壊等により自宅での生活が困難な場合、一般の方や妊婦等一定の配慮が必要な方が避難する一次・二次避難所では避難生活が困難な、要介護度や障害の程度が高い方のために開設するものです。

荒川区社会福祉協議会では、13カ所指定されている障がい者用福祉避難所のうち4カ所、「荒川生活実習所・福祉作業所」「尾久生活実習所(本所)」「尾久生活実習所(分場)」「障害者福祉会館(アクロスあらかわ)」の運営を行っています。各施設では、食事の提供・生活必需品の支給などの配慮がされます。今回は、これらの備蓄や訓練の状況について紹介します。

※福祉避難所全体については、区のホームページをご覧ください。災害時に備えた地域全体の取り組みについても確認することができます。  
なお、尾久生活実習所(本所)は高齢者用福祉避難所にも指定されています。

## III 避難訓練や福祉避難所の開設訓練 III

荒川区社会福祉協議会の運営する障がい者通所施設では、毎月利用者と避難訓練を行っています。尾久生活実習所では、災害が起きたときに地域での協力体制を構築することや、地域の方に福祉避難所開設時に使用する物品について知ってもらうことを目的とした「地域住民参加型避難訓練」を毎年実施しています。今年度は10月4日に尾久消防署の職員の方にご指導いただき、消火訓練とAED訓練を実施しました。10月5日は福祉避難所の開設訓練や避難所機材の利用体験を行い、地域住民の方にご参加いただき、災害について考える機会となりました。

荒川生活実習所では、毎月の訓練後に行う反省会で、利用者からも様々な意見が出て、次の訓練に活かしています。また、荒川福祉作業所とともに、地域の方や保護者も一緒に参加する大規模な避難訓練も行っており、様々な状況を想定した訓練に取り組んでいます。

当事者団体等の活動拠点であるアクロスあらかわでは、毎年「防災の日」に合わせて、利用者と地元町会との合同で、福祉避難所訓練を行っています。



荒川生活実習所の避難訓練

### 機材・設備の使用体験



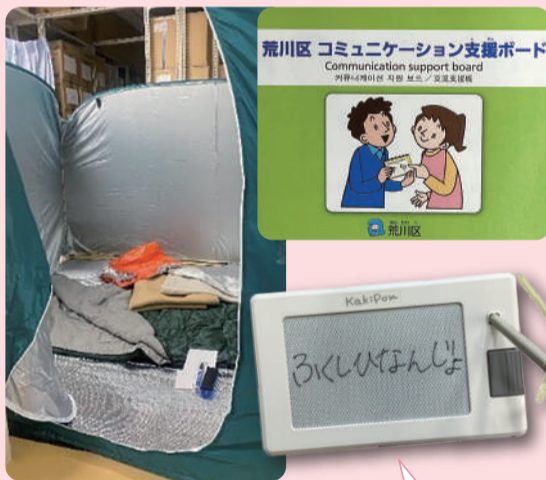
ラップポイントイレ体験

### 「備蓄品」※その一部をご紹介します

荒川区社会福祉協議会が運営している施設には、福祉避難所を開設できるように様々な備蓄品があります。今回は備蓄品の一部を紹介します。



避難中、少しでも豊かに過ごすことができるよう、ようかんやカップケーキ、ビスコ、洋風雑炊など様々な非常食を備蓄しています。



光や音などの刺激が苦手な方も落ち着いて過ごせるようなテントや、言葉よりも絵や文字の方がコミュニケーションが取りやすくなる方にコミュニケーションボードなどを備蓄しています。



尾久生活実習所の避難スペース体験・昇降機体験



アクロスあらかわの消火訓練

## 福祉作業所の粋いな自主生産品をお届けします。

自主生産品を通じて あらかわの街(地域)と“つながる” 販売イベントです。区内の就労支援継続B型事業所の自主生産品を手にとってご覧になれます。

- 12月14日(土)10:00～15:00 あらかわマルシェ  
ララテラス南千住 オーバルコート
  - 1月25日(火)10:00～14:00 あらかわふれ愛マーケット  
荒川公園 展示室
- ※詳細は随時ホームページにてご案内します。



《問合せ》TEL:3807-3442 荒川福祉作業所

ご存じ  
ですか?

12月3日～12月9日は  
障害者週間です。

「障害者週間」は、広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める目的として設定されました。

障害者週間に合わせ、12月9日(月)まで区役所1階ロビーで、区内障がい者施設による活動紹介、創作品や自主生産品の展示を行っています。

# ふれあい粋・活サロン 「世話人交流会」を開催しました！

ふれあい粋・活サロンは、令和6年9月末現在、87か所が開催し、荒川区内では地域の身近な居場所として浸透しています。9月30日には、各サロン活動の情報交換と必要なテーマを学ぶことを目的として世話人交流会を開催しました。

交流会には、サロンを運営されている町会・自治会や民生委員・児童委員、高年者クラブ、ボランティアなどの世話人の方々、各地域を担当する地域福祉コーディネーターのほか、高齢者みまもりステーションなどの関係者を含め126名が参加しました。

今回は昭和大学大学院保健医療学研究科准教授 副島賢和(そえじままさかず)氏より、「こころの言葉になる～自尊感情に着目して～」～院内学級の子もたちが教えてくれた大切なこと～と題し、病院内学級の教諭の立場から、子どもの気持ちを考えることについてお話があり、その中で参加者同士が話し合う時間も設けられました。

参加者の方々からは、「自身の子どものことを思い浮かべて涙が止まらなかった。」「子どもの話が中心だったがどの年代にも置き換えて通じる話で気づきや考える良い機会になった。」「初めて参加したがこんなに地域活動に熱心な方が多いことを知って励みになった。」「声かけの難しさを感じた。自分にできることは何か考えていきたい。」といった嬉しいお声をいただきました。

高齢者と子どもなど「世代を超えた交流」は、地域の皆さまが元気になる大切なポイントになります。荒川区社会福祉協議会では、年齢を問わず、地域の皆さまの顔と顔がつながり、お互いに支え合える地域社会を目指して、これからもふれあい粋・活サロンをサポートしていきます。



区内のふれあい粋・活サロンの情報は、こちらからご覧いただけます。



《問合せ先》TEL:3802-3338『地域福祉コーディネーター』まで！



## ふるさとサロン～区内避難者の孤立化防止事業～

2011年、東日本大震災の発災後、福島県等から都内へも多くの方が避難されてきました。今もなお多くの方が都営住宅・職員住宅などに入居されたり、子どもや親戚宅へ身を寄せたりして生活しています。荒川区内にも現在15世帯の方が避難されています。

避難が長期化する中で、見知らぬ土地で生活することへの不安が増したり、ひきこもりがちになったりすることが懸念され、避難者の不安を取り除き、孤立化を防ぐ対策が必要です。特に高齢者や障がいのある方々を孤立させない支援が重要です。

そこで、避難者の「生活する地域」の実情に応じて実施する、避難者の孤立化防止に資する取組の一環で、区内避難者の生活の拡がりとなることを目的として、荒川区内のボランティアによる演奏や体操を通じて交流する「ふるさとサロン」を、令和3年度から不定期に開催してきました。

次回は2月17日に開催する予定となっています。

《桜木相談員より》 突然、縁のない土地に来ざるをえず、帰郷できなくなった避難者の方々の苦悩には言葉がありません…。私たちに出来ることは、荒川の地域に馴染んでいただけるよう、寄り添っていくことだと思っています。

《問合せ》荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課「ふるさとサロン」担当まで TEL:3802-3338

## 地域福祉活動助成をご存じですか。

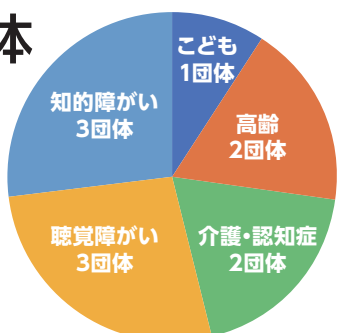
この助成は、地域の皆さまからの歳末たすけあい・地域福祉募金の一部を財源として、区内の地域福祉活動や区民主体の活動、ボランティア活動等を行う様々な団体の活動を支援することにより、「誰もが安心して暮らし続けられる街」を構築していくことを目的としています。

令和6年度は、①地域福祉の普及活動、②地域福祉に関する調査・研究・報告活動、③地域での助けあい活動や地域の福祉課題に対応する各種福祉活動の3つの事業内容を対象に、それぞれ助成上限額を設定した上で、必要経費の4分の3に相当する助成の申請を受け付けました。

9月末までに2回の公募を行い、審査を経て、11団体への助成が決定しました。決定した団体・事業の内訳は以下のとおりです。

### 交付先団体

- こども
- 高齢
- 介護・認知症
- 聴覚障がい
- 知的障がい



### 対象事業

- |                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ① 地域福祉の普及活動                         | 7団体 |
| ② 地域福祉に関する調査・研究・報告活動                | 2団体 |
| ③ 地域での助けあい活動や地域の福祉活動<br>に対応する各種福祉活動 | 2団体 |

なお、本助成金の交付先団体の具体的な活動内容については、改めて紹介する予定です。

# 令和6年能登半島地震 被災地へ継続的な支援を

年初の「令和6年能登半島地震」、そして9月下旬の記録的な大雨という度重なる災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

石川県能登地方では、地震と大雨の“二重被災”という厳しい状況の中で、今もなお避難生活を余儀なくされ、道路や上下水道等のインフラの復旧の遅れなどにより、生活上の様々な困難に直面されている方が少なくありません。

荒川区社会福祉協議会では、4月24日～30日、及び9月15日～9月21日に、それぞれ職員1名を石川県輪島市へ派遣し、災害ボランティアセンターでの支援活動を行ってまいりました。



また、これまでに区民の皆さまから街頭募金、チャリティイベント募金、団体募金、個人募金などを通じ、多くの募金をお寄せいただいております。10月末までの累計額は『義援金』2,149,707円、『支援金』710,492円、**合計2,860,199円**となっております。

荒川区社会福祉協議会では、この募金について、月末ごとに中央共同募金会を通じて被災地へお届けしております。また、引き続き募金活動を行ってまいります。

被災された方々及び被災地への継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年 能登半島地震に関する詳細な情報は、石川県のホームページよりご覧いただけます。  
URL: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/>



「石川県ホームページ」より



## 募金へのご協力、ありがとうございます ～第37回おぐとぴあ23秋の大バザール～

10月20日(日)、「おぐとぴあ23(尾久本町通り商店街)」にて開催された「第37回おぐとぴあ23秋の大バザール」にて、荒川区社会福祉協議会も募金活動を実施させていただきました。

当日は、わざわざ自転車を降りてくださる方やシルバーカーでお買い物の方、ベビーカーを押した若いご夫婦、小さな子どもたちなど、たくさんの方々にご協力いただき、**募金額は80,501円**となりました。

たとえ遠方であっても、困っている方がいれば手を差し伸べる、地域の方々の温かいお気持ちに触れ、私たち社協職員も胸が熱くなりました。ご協力に心から感謝いたします。



### 「義援金」と「支援金」の違いについて

#### 【義援金】

被災者に直接交付されるお金のこと

#### 【支援金】

被災地で活動するNPO等の非営利団体に交付されるお金のこと

※どちらも、被災地への支援として大切です。

令和6年 能登半島豪雨災害募金は、令和6年12月まで受け付けています。 問合せ:管理課 3802-2794

## 令和6年度 受験生チャレンジ支援貸付事業 締切は令和7年1月31日まで!



受験生チャレンジ支援貸付事業は、一定所得以下の世帯の中3・高3の受験生を対象に塾の費用や受験料を無利子で貸し付けする制度です。高校・大学等に入学すると返済が免除になります!

問合せ:受験生チャレンジ担当 5615-3440



詳しくは下の二次元コードから!



## きもちトーク 発表者募集!!

「障がい」や「生きづらさ」をテーマに様々な想いや体験を自分自身の言葉で表現してみませんか?

- 発表日時** 令和7年2月22日(土)午後1時30分～午後4時  
※発表する時間は1人約10分です ※午前中にリハーサルを行います
- 会場** アクロスあらかわ(1階多目的ホール)
- 発表のテーマ** 『障がいや依存症・生きづらさと共に生きるコツ』
- 募集の対象** 障がいのある方・生きづらさを抱えている方・これらの方とつながりのある方(ボランティア・ヘルパー・ご家族・その他関連した活動をされている方など)

- 募集人数** 7名予定(応募者多数の場合は先着順)
- 応募方法** 下記までお問合せの上、お申込みください。
- 申込締切** 12月15日(日)
- 申込み問合せ** アクロスあらかわ  
TEL:3803-6221  
FAX:3803-6222

## 善意の寄付者一覧

この度、ご寄付いただきました金品については、荒川区の地域福祉の向上に大切に活用させていただきます。



### 善意の寄付者

【令和6年9月15日～令和6年10月31日】(敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
10月 3日	匿名	10,000
10月 3日	匿名	37,677
10月10日	匿名	10,000
10月16日	荒川フリーマーケット実行委員会	15,000
10月22日	匿名	100,000

### たんぼぼ募金箱設置店

【令和6年9月15日～令和6年10月31日】(敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
10月29日	喫茶店 シナモン お客様一同	23,474

### 物品寄付者

【令和6年9月15日～令和6年10月31日】(敬称略)

日付	寄付者名	寄付物品
9月24日	二之坪町会	菓子・おもちゃ 2袋
9月24日	匿名	生理用品14箱など
9月26日	西尾久クリニック	車椅子1台
10月 3日	匿名	おむつ2袋
10月 4日	西山鋼業株式会社	米2kg120袋
10月10日	匿名	おむつ、パッド1箱
10月22日	松居 宏樹	車椅子1台
10月22日	匿名	車椅子1台
10月23日	東邦電気工業株式会社	災害用備蓄食料及び飲料水2,928点
10月24日	高田 裕	食器、ケトル、花瓶等4箱
10月24日	八田 かよこ	おむつ4袋、おしりふき2袋
10月25日	匿名	衣類1箱、装飾品1袋